



令和5年度

研究デザイン



東子まつりを
開催します！
日時…2月4日
午前9時30分～午後11時まで
場所…亀山東小学校
目的…災害の代わりに東小を
盛り上げるため！
東小の6年生が考えたお店が
たくさん！！
ぜひ来てください！
持ち物
スリッパ
くつ袋
(ビニール袋)
スマートフォンも
いいね！



亀山市立亀山東小学校

〒519-0116 亀山市本町一丁目9番9号

TEL 0595-82-0011 FAX 0595-82-9693

教育大綱 基本方針—1—

未来を拓く子どもたちの豊かな学びの実現

亀山市教育関係職員 研修基本方針

一人ひとりの児童・生徒が個性を生かしながら、なかまとともに主体的に学ぶために

- ・ すべての子どもの学ぶ意欲を高め、社会で生きてはたらく「確かな学力」を育てる教育活動をすすめる。
- (2) 教師の授業力向上を追求するとともに、系統的な指導をすすめる。
- (3) 人権を尊重し、なかまとともに、豊かな心と身体をはぐくみ、自己肯定感・自己有用感を高める教育活動をすすめる。
- (4) 地域の人材や活動を活用し、地域とともに特色ある教育活動をすすめる。
- (5) 研修履歴を活用した新たな研修制度により、効果的かつ主体的に資質向上をすすめる。

1. 学校教育目標

地域の中で生き生きと学び 豊かな心をもって よりよく生きる子どもの育成

子どもたちがいきいきと楽しく学ぶ学校

一人ひとりの子どもに居場所がある学校

保護者・地域と教職員が手を取り合って進む学校

2. 研究主題及び研究領域

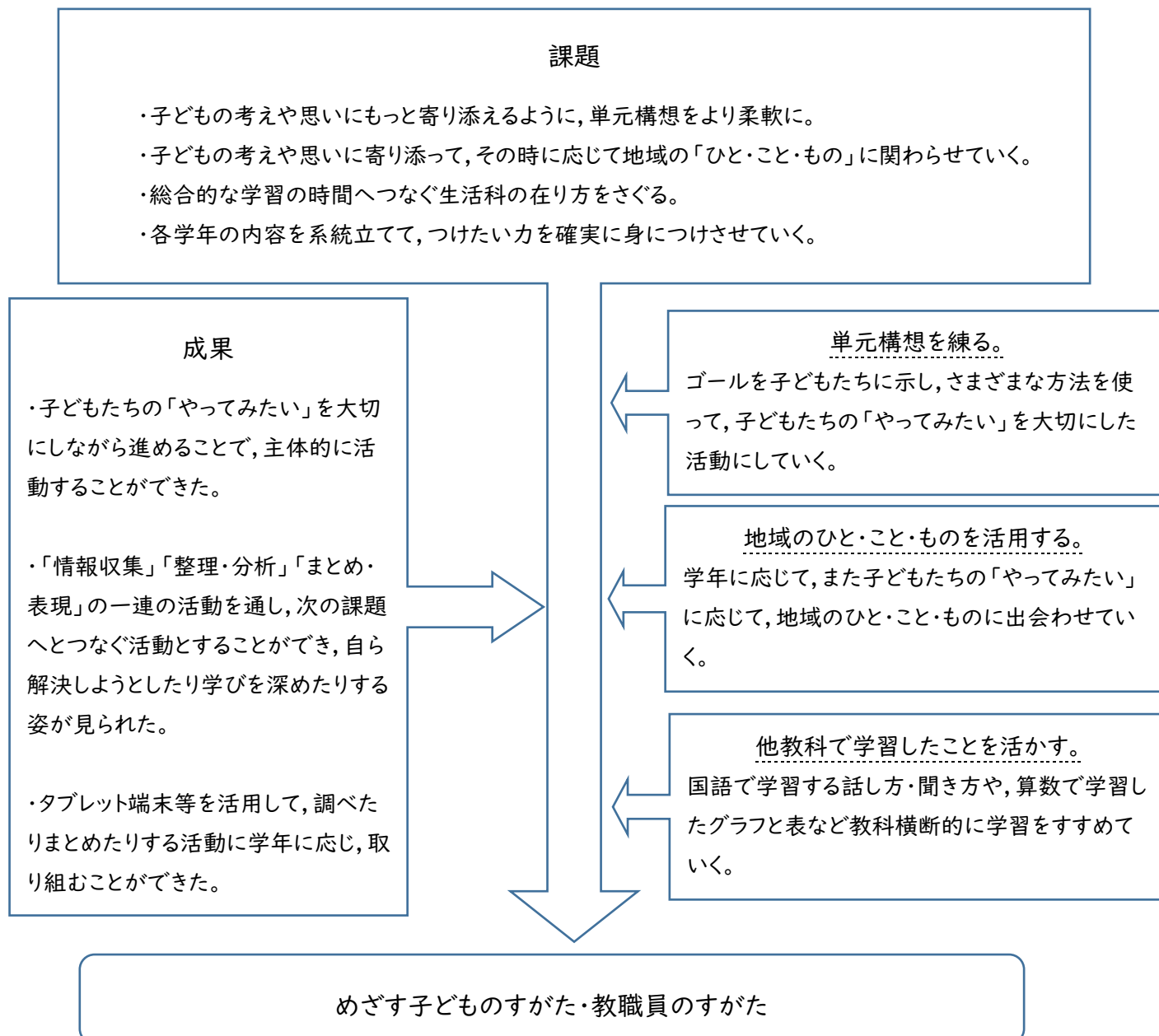
子どもたちの「やってみたい」から始まる授業づくり

～地域のひと・こと・ものを活かして～

領域：生活科・総合的な学習の時間

3. 研究主題設定の理由

一昨年度から「生活科・総合的な学習の時間」を研究領域とし、子どもたちの主体的・共同的な学びを深め、ともに生きる力を育む取り組みをすすめてきた。昨年度の成果と課題をもとに、今年度もさらに取り組みをすすめることとした。



4. 研究構想図

研究主題

子どもたちの「やってみたい」から始まる授業づくり

～地域のひと・こと・ものを活かして～

領域：生活科・総合的な学習の時間

亀中校区研究主題

自他を認め、
ともに学び合い、
高め合う
児童・生徒の育成

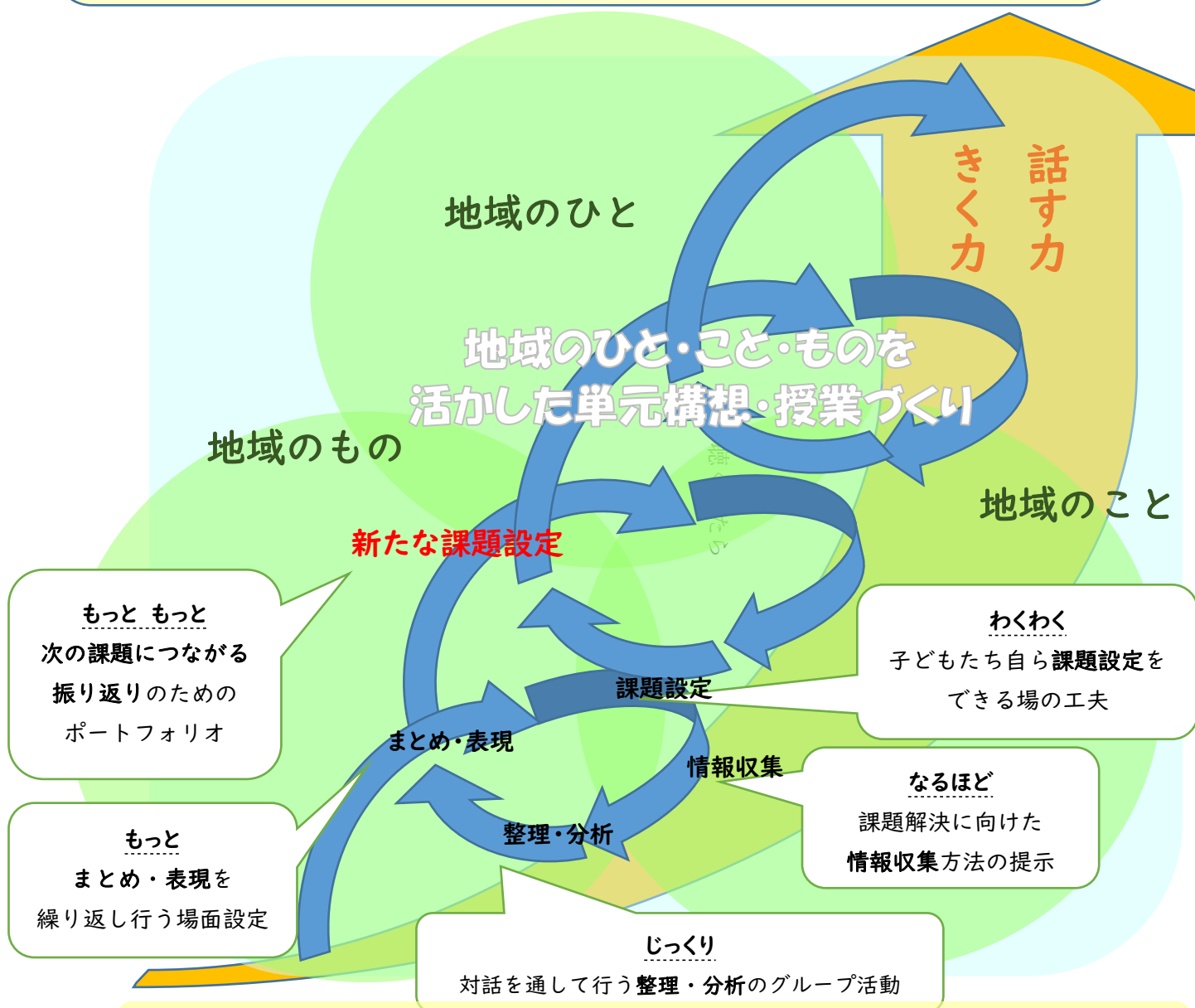
探究的な学びを通して、子どもたちににつけたい力

協働的に学ぶ力

- ・人とのつながりから学ぶ力
- ・他者との学びから社会で活用できる力

課題設定の力

- ・新たな課題を設定する力
- ・調べたことから考えをもち、自分の生活や考え方を振り返る力



学びを支える基礎学力づくり～学習部と連携～

学びを支える学級づくり～人権教育推進委員会と連携～

5. 研究内容

探究的な学習となるための手立て

地域素材を生かした単元構想・授業づくり

地域のひと・もの・ことを学習過程で活用できる単元づくりを行う。単元を通して、つきたい力や目指す子どもの姿、学習のゴールを明確にして単元構想を作成する。また、各学年の発達段階に応じたテーマの設定、学校や地域の特色を生かしたテーマを設定する。

授業づくり

① わくわく 子どもたち自ら課題設定をできる場の工夫

子どもたちが自ら課題を見つけられるような場の設定を行う。疑問を起こす課題設定を工夫する。

例：ウェビング法（学級、グループ、ペア、一人）・・・一つの事柄から関連する事柄をつなげたり、調べたいことをキーワードとしてその解決のために必要な事柄を考えてつなげたりして、網のように広げていく方法

例：他教科からの課題提起、マンドラート、KJ法 など

② なるほど 課題解決に向けた情報収集方法の提示

探究的な学習で過程に沿った情報収集の仕方を選択できるように一覧にまとめ提示する。子どもが情報収集一覧を活用することで情報収集のための知識技能、情報収集の手段を選択する思考力・判断力を身につける。

③ じっくり 対話を通して行う整理・分析のグループ活動

収集した情報を選択し活用しながら、子ども同士のやりとりやグループで質問する時間などを設けながら、資料を整理したり、分析をしたりする。自らの考察などを交流することで、まとめや発信の仕方、新たな気づきや方向性が見いだせるグループ活動を取り入れていく。そこでの、教師の発問の仕方、出場を考える。

④ もっと まとめ・表現を繰り返し行う場面設定

細かな単元構想の中で、調べたり、考えたりしたことを文章や絵、表やグラフにまとめ、発信する場面を多く設定する。まとめの段階では、様々な思考ツールを活用したり、新聞やポスターなどに考えを書き出したりして思考の整理ができるようにする。表現の段階では、他学年や外部への発信など、表現の場面を繰り返し設定する。表現の機会を多くすることで、子ども同士の表現方法の工夫や考えの深まりをめざす。

⑤ もっと もっと 次の課題に繋がるふり返りのためのポートフォリオ

自分がその頃、その場面、その時間に調べたことや考えたことを、適宜、プリントなどに記録して、ファイリングして保存していく。自分の考えや思ったことを振り返り読むことで、思考を再確認したり、次の課題へとつながるような新たな気づきが生まれたりできるよい資料となっていく。ICT機器などを利用し、書き込んだもの、資料等を保存しておくのもよい。

各教科等の学びを活かす

総合的な学習の時間において、子どもや教員が各教科等の学びを活かすことができるように教科横断的な学習を行う。学習を進める中で、子どもと共に各教科との関連を確認していくことで、子どもも教員も各教科の学びと総合的な学習の時間との関連を認識し、活かすことができるようにする。